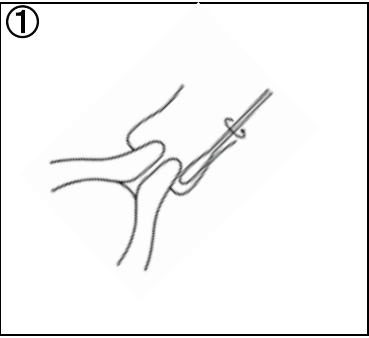
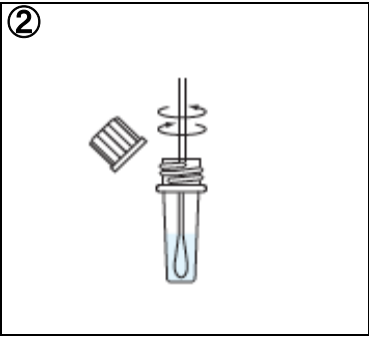


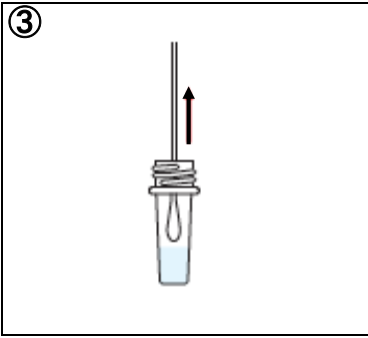
癌胎児性フィブロネクチン(頸管腔分泌液) 検体採取方法



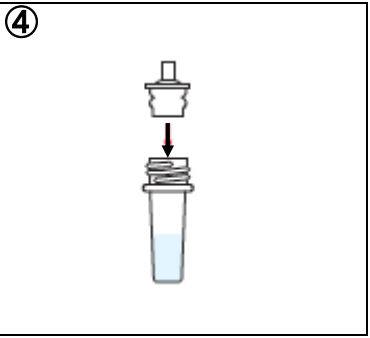
専用綿棒を後膣円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。  
(注意)  
検体採取時に無理な力がかかると、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。



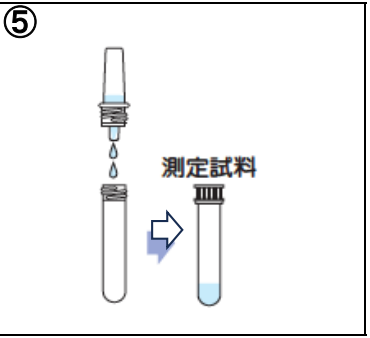
検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌物を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)



綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。



検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。



検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。

● 注意事項

- ・検体の採取は膣洗浄前に行ってください。
- ・検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。
- ・検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。